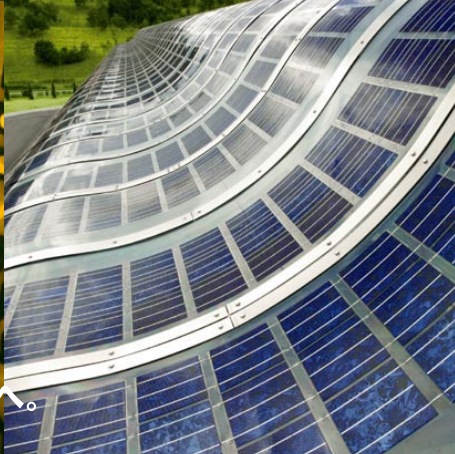
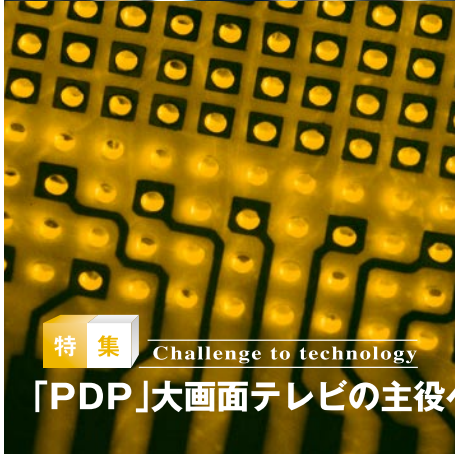
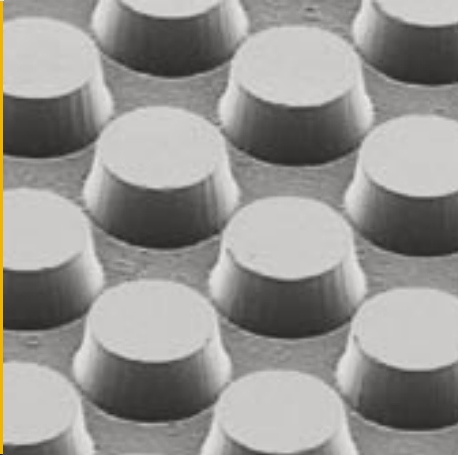


フジプレアムと社会を結ぶ情報誌

プレ  
*Pre*  
2006.9 Vol.7



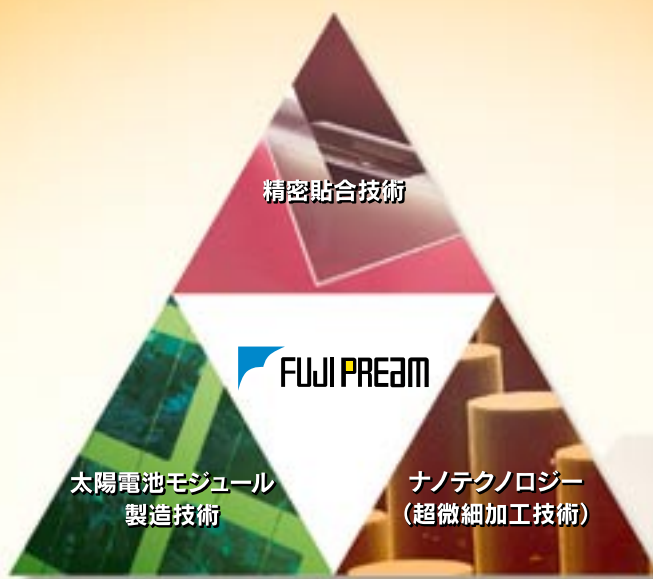
特集

Challenge to technology

「PDP」大画面テレビの主役へ。

FUJIPREAM

フジプレミアムは、3つのコア技術で時代を拓きます。



最先端テクノロジーで、ディスプレイデバイス業界を牽引。



PDP用光学フィルター・ダイレクトフィルター、液晶偏光板フィルムの製造・販売

独自の技術で、環境保護とエコエネルギーの普及に貢献。



採光型太陽電池モジュール、太陽光発電応用製品の製造・販売

時代の基幹技術「ナノテクノロジー」を、産学官で共同研究。



放射光による超微細加工技術の研究

フジプレミアムは、研究開発型企業として3つのコア技術を基本に、時代と顧客のニーズに的確に応え、人々の豊かな暮らしに貢献することを目指しています。

日々急速な進歩を遂げるディスプレイデバイスの世界、持続可能な社会づくりに寄与するためのエコエネルギー市場、これからの未来を支えるナノテクノロジー市場において、さらなる技術の向上と、新たな技術の取得に努めています。

## 株主、投資家の皆様へ。

株主の皆様には、益々ご清栄のこととお喜び申し上げます。平素より、当社事業につきまして格別のご理解とご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

当社は、創業以来、顧客のニーズに対してトータルにご提案できる企業でありたいと、ものづくりに邁進し今年、四半世紀という節目を迎えることができました。これもひとえに、株主の皆様はじめ関係者の方々の温かいご支援の賜物と、心より感謝致しております。

自動包装機械の生産設備製造から情報産業の一翼であるプラズマディスプレイパネル用光学フィルターや液晶偏光板などのフラットパネルディスプレイ関連事業、及び、環境ビジネスのクリーン・エコエネルギー関連事業へと当社は四半世紀の間に時代のニーズを見据えながら、事業形態の変遷、拡大を繰り返して参りました。小さく見える技術にも大きな付加価値を生み出すことで、飛躍し続けるという当社の基本的な経営方針は今後も変わることなく、「精密貼合」のリーディングカンパニーとして、新たな事業分野でも光り輝きますよう、努力して参ります。

当下期には、機を見て水をやりながら育てきた、いくつかの事業がようやく実を結び始めることになると期待しております。

前年度、企業全体の業績にも影響を与えたフラットパネルディスプレイ関連事業においては、自動化や合理化が進んだことで技術や設備、人材など総合的に安定感が増し、材料問題や歩留りなどを含めた諸問題が解決。収益も改善してきており過渡期の痛みから、ようやく脱け出しつつあると実感しております。

クリーン・エコエネルギー関連事業においては、新工場の設立に伴い、当社ブランドの太陽電池モジュールメーカーとして、また世界初「集光型球状シリコン太陽電池CBセル/モジュール」のメーカーとしての新たな船出が目前となっております。

そして、7月には子会社としてフジプレミアム商事株式会社を設立。ワールドワイドなチャレンジをし続けるため‘ものづくりのフジプレミアム’に競争力をさらに強化しアピールして参ります。

このように、当社は創業25年目の新たなスタートを新たな思いで切り、次代の節目に向かって走り出しました。今後とも、格別のご厚誼を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。



代表取締役社長  
松本 實藏

# 「PDP」大画面テレビの主役へ。

薄型テレビの普及が続き、活況を示す  
FPD(フラットパネルディスプレイ)業界。  
中でも超大画面テレビの伸長に注目が集まっています。  
今回の特集はフジプレミアムのコア事業である  
PDP(プラズマディスプレイパネル)を中心に  
FPD市場における当社の取り組みをご紹介します。



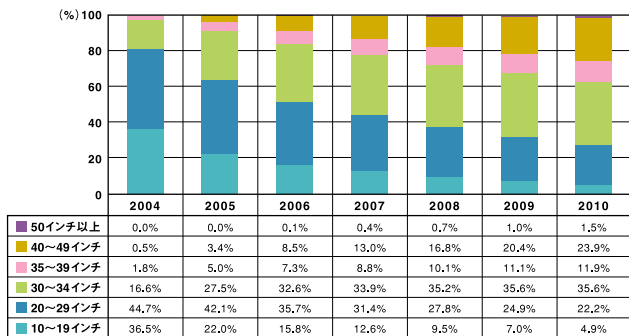
## 薄型テレビの普及は世界的に本格化。 市場の拡大が続いています。

薄さやスタイリッシュなデザイン、進む低価格化などによって、世界的に薄型テレビの普及が本格化しています。昨年の薄型テレビ出荷台数は約2,400万台でテレビ総出荷台数の約15%を占めたと見られています。30インチ以下においては、すでに日用品化が進んでおり競争が激化。国内・海外のメーカー間各社、生産合理化などにより利益確保に努めています。このような状況の下、その付加価値の高さから、40インチ以上の大画面テレビが注目されています。

## PDPと液晶の首位争いが続く、 超大画面テレビ市場。

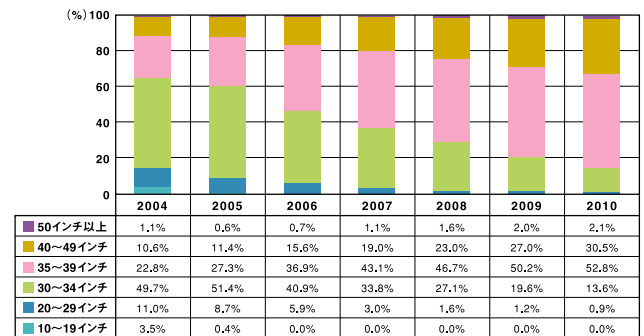
かつてはリアプロジェクションテレビの牙城であった超大画面テレビ市場。しかし昨年、ついにPDPがその地位を奪い、主役へと躍り出ました。一方、30インチクラスの市場で首位を築いた液晶テレビの大型市場への参入の動きもようやく見え、PDPと液晶の熾烈な首位争奪戦が始まると予想されています。PDPと液晶、両者の品質は互角と見られ、争いは品質面ではなく価格競争へ。しかし、コストダウンによる収益の確保が比較的しやすいPDPが優位に立つとの見解が、有力とされています。

■全世界液晶テレビ需要サイズ別シェア



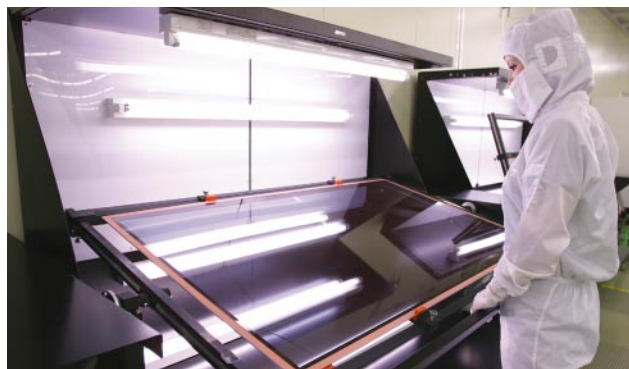
[ディスプレイサーチ]調べ

■全世界PDPテレビ需要サイズ別シェア



[ディスプレイサーチ]調べ

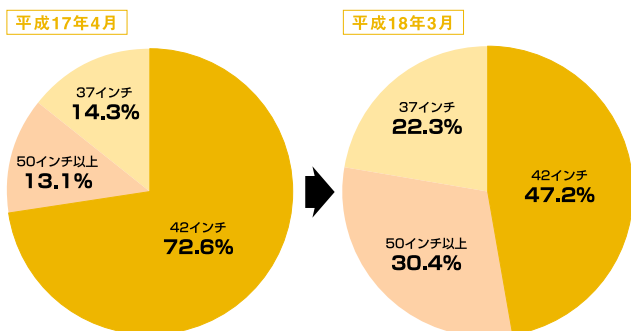
## 大画面化に欠かせない 精密貼合技術。 フジプレアムの躍進がいま、 注目されています。



### ■ 高技術・高品質が評価され、 貼合市場のトップシェアを確立。

PDPテレビの主要部材である光学フィルター。様々な機能性フィルムを貼り合わせることでつくられます。この貼合において、約40%近くのシェアを有しているのが当社、フジプレアムです。貼合は大型化するほどに難易度が増し、高い技術レベルが要求されます。その中で、フジプレアムでは現在、103インチまでの精密貼合技術を確立。品質面においても独自開発の検査システム、充実した検査員で高いレベルを維持しており、国内外のメーカーより高い評価をいただいております。

#### ■ フジプレアムのPDP用光学フィルターサイズ別出荷台数実績比率



※上海工場、ダイレクトフィルター等を含みます。

### ■ 価格競争はますます激化。 様々なコストダウンを推進しています。

各テレビメーカーは小型画面テレビから、より付加価値の高い超大画面テレビへのシフトを進展。競争が激化する中、ある大手の国内テレビメーカーでは年率20%以上のパネル部材におけるコストダウン要請を実施しています。部材メーカーには厳しいプレッシャーが課せられているのも事実です。フジプレアムでは生産体制の強化により受注機会の損失を回避し、生産数量を確保すること、さらなる品質の向上を目指すなど、様々なコストダウン施策を推進。需要拡大への対応力を高めています。

#### ■ PDP用光学フィルターの構造(一例)



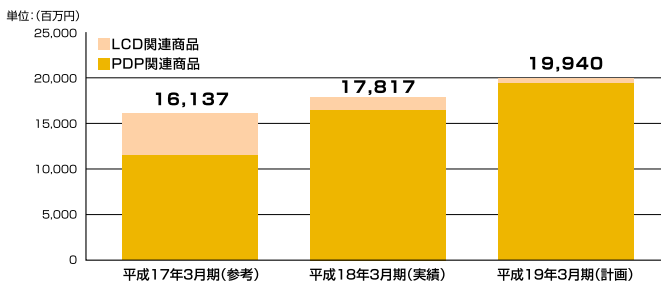
※フィルムの構成は機種によって異なります。

「PDP」大画面テレビの主役へ。

FPD関連事業の生産規模は拡大。  
一層の体制強化を目指します。

FPD(フラットパネルディスプレイ)部門はフジプレアムグループにおける売上高の約80%を占める主要事業。テレビ市場の今後はテレビの完全デジタル化や北京での世界的なスポーツイベントも控えていることから年率約10%の成長が続くと見られています。フジプレアムでは世界的な需要拡大に対応するため、あらゆる施策を推進。大型加工への移行を本格化し、設備の自動化及び省人化による体制の改善・強化などを進めています。また、検査技法の特化により、品質面での差別化にも取り組んでいます。

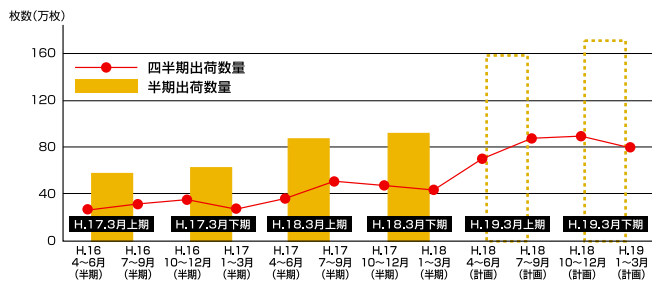
■フジプレアムFPD(フラットパネルディスプレイ)部門の売上高



世界最大の市場、中国。  
上海工場も増産体制の確立を進めています。

昨年の中国のテレビ販売台数は日本の約4倍の、約3,550万台。薄型大画面テレビは富裕層を中心に普及が進展し、シェアは10%前後。いずれ、中国のテレビ市場は世界最大の市場になることが確実とされています。日本の市場と違い、中国や韓国のメーカーの躍進が著しく、市場戦略の構築もひと筋縄ではいかない中国市場。当社グループの上海工場(上海不二光学科技有限公司工場)では市場ニーズをいち早くキャッチし、需要拡大に向け、生産体制の強化をより一層進めていく予定です。

■フジプレアムPDP用光学フィルター出荷数量の推移



※上海工場、ダイレクトフィルター等を含みます。

特集 Challenge to technology

BACK NUMBER バックナンバー

● Pre(フレ)創刊号

社長と語るフジプレアム

当社社長と社員の対談を通じてフジプレアムのものづくりへの思いや将来の展望をお伝えしています。

● Pre(フレ)Vol.4

未来に近い街「播磨科学公園都市」

当社の「播磨テクノポリス光都工場」建設の地であり、科学技術の集積地として注目される「播磨科学公園都市」をご紹介します。

バックナンバーは当社ホームページでご覧いただけます。 <http://www.fujipream.co.jp/>

● Pre(フレ)Vol.2

フィルムラミネート技術

当社が誇る「精密貼合技術」を活かしたフィルムラミネートガラスをご紹介します。今後の課題や取り組みもお伝えしています。

● Pre(フレ)Vol.5

「太陽電池」が未来を照らす。

競争が激化する太陽電池市場において革新的な「集光型球状シリコン太陽電池」を通常よりページをさいて詳細にご紹介。

● Pre(フレ)Vol.3

「太陽電池」を育てる

急成長を続ける太陽電池市場。その中で、独自技術を活かし環境に貢献する当社の戦略と取り組みを特集。

● Pre(フレ)Vol.6

「設備投資で強く、大きく」

太陽電池市場と共に、好調に推移する当社のソーラー事業と併せて、設備投資への取り組みをご紹介します。

## FUJIPREAM HSP REPORT

## 太陽電池の新時代を切り開く!

Hybrid Solar Panel 交流/直流出力太陽電池パネル


※1  
世界初

※1 交流/直流出力可能の持ち運べる太陽光発電システムとして、2006年2月現在、フジプレアム調べ。



## 注目集める「HSP」。商品化に高い期待がかかっています。

大がかりな工事や専門知識が必要なく、設置場所も選ばないという画期的な太陽光発電システム「HSP」。商品化を控え、様々な業界からの注目を集めており、早期の上市を望む声も。商品開発もいよいよ佳境です。展示会などへの出展も積極的に推進し、より幅広い層へアピールして参ります。

## 「第1回 新エネルギー世界展示会」への出展が決定!

今年の10月に幕張メッセで開催される「新エネルギー世界展示会」へフジサンエナジーと共同で出展いたします。国内外200社を超える企業や団体が参加し、新エネルギーに関する最新製品・技術・情報を発信する、この一大イベント。「HSP」に高い注目が集まると自負しております。「HSP」の他にもフジプレアムグループが誇る太陽電池関連製品の展示を予定しております。皆様、是非ご来場ください。

## 第1回 新エネルギー世界展示会

日時 2006年10月11日(水)～13日(金)  
10:00～17:00

場所 千葉市美浜区中瀬2-1 幕張メッセ  
国際展示場5・6Fホール



## フジプレアムグループ出展物(予定)

- 「P-HSP※2」試作品
- 建材一体型太陽電池パネル
- 「集光型球状シリコン太陽電池CBセル/モジュール」
- その他の太陽電池応用製品

&lt;出展イメージ図&gt;



## 「第4回光都ビジネスコンペin姫路」で最優秀賞受賞!

姫路市や姫路商工会議所で構成され、光関連事業の積極的な展開を推進するために行われている「光都ビジネスコンペ」。4回目を迎えたこのコンペで当社会社であるフジサンエナジー株式会社の「携帯型AC・DC出力蓄電池付太陽電池電源(P-HSP※2)」が最優秀賞をいただき、去る9月5日に姫路商工会議所で表賞を受けました。この栄誉を励みに、一日も早い商品化を目指します。

※2 ポータブル性をより高め、蓄電池を搭載した「HSP」のアドバンスモデルです。



## ■平成19年3月期 第1四半期 財務業績の概況(連結)

当第1四半期におけるわが国経済は、原油価格の高騰、株価下落及び米国経済の減速懸念等はあったものの、企業収益の改善による設備投資の増加、個人消費の緩やかな増加等に支えられ、概ね回復基調で推移いたしました。

このような状況の中で、当社グループのフラットパネルディスプレイ関連事業につきましては、生産規模は順調に拡大しているものの、PDP市場における販売価格が前年同期に比べて大幅に下落し、その結果、当社グループにおけるPDP用光学フィルターの業績に影響しました。現在のところ、PDP用光学フィルターの売上高は当社グループ連結売上高の重要な部分を占めているため、その影響が

グループ全体の経営成績に影響を与えております。

また、クリーン・エコエネルギー関連事業におきましては、前年に引続き、世界的な環境意識の高まりから市場が拡大しており、当社グループにおきましても業績は好調に推移いたしました。

フラットパネルディスプレイ関連製品の需要は今後も拡大が続くとみられ、これによる販売価格の下落に対応するため、生産数量の確保、設備の自動化及び省人化による改善を図って参ります。他方では、集光型球状シリコン太陽電池セルを軸とした太陽電池事業を確立し、事業の多角化を推進することによって、業績の安定化を図るよう、努めて参ります。

## ■経営成績(連結)の進捗状況 (単位:百万円,未満切捨)

	平成19年3月期 第1四半期	平成18年3月期 第1四半期	平成18年3月期 (通期)
売上高	5,429 (1.9%増)	5,326	21,831
営業利益	284 (26.9%減)	389	1,438
経常利益	331 (15.8%減)	393	1,547
四半期(当期)純利益	207 (11.0%減)	232	912
1株当たり四半期(当期) 純利益(円)	7.02	23.46	30.88

## ■財政状態(連結)の変動状況 (単位:百万円,未満切捨)

	平成19年3月期 第1四半期	平成18年3月期 第1四半期	平成18年3月期 (通期)
総資産	13,978	12,372	12,804
純資産	6,514	5,980	6,472
自己資本率(%)	46.3	48.3	50.6
1株当たり株主資本(円)	220.83	604.90	219.43

※当社は以下の株式分割を行っております。  
(1)平成17年12月26日付で1株につき3株の分割を行っております。



## 会社概要

## ■会社概要 (平成18年3月31日現在)

商号	フジプレミアム株式会社 Fujipream Corporation(英)
本社所在地	兵庫県姫路市飾西38番地1
設立	昭和57年4月14日
代表者	代表取締役社長 松本實藏
資本金	2,000百万円
事業内容	PDP用光学フィルター関連事業 光学製品関連事業 太陽光発電関連事業 生産技術システム関連事業 他
従業員数	457名(連結、臨時雇用含む)
営業所及び工場	本社・姫路工場 播磨テクノポリス光都工場／研究所 東京オフィス
連結対象となる子会社	フジサンエナジー株式会社 (設立 平成13年4月) 上海不二光学科技有限公司 (設立 平成15年9月)
主要取引銀行	三菱東京UFJ銀行、みずほ銀行

## ■取締役及び監査役 (平成18年6月29日現在)

代表取締役社長	松本 實藏
取締役副社長	松本 守雄
専務取締役	田頭 未徳
常務取締役	牛尾 哲之
常務取締役	手塚 博文
常務取締役	原 一雄
取締役	松本 春代
取締役	大川 拓志
取締役	池田 尊士
取締役	石見 健三
取締役	藤田 和也
取締役	戸叶 威雄(社外)
常勤監査役	松本 毅
監査役	杉山 正幸
監査役	田中 千秋

## ■株式の状況 (平成18年3月31日現在)

会社が発行する株式の総数	105,000,000株
発行済株式の総数	29,786,400株
株主数	5,395名

# トピックス Topics

## TOPICS 1 7月1日にフジプレミアム商事株式会社を設立いたしました。

- 設立 平成18年7月1日
- 資本金 1,000万円
- 目的 フジプレミアムブランドの商品開発及び市場への拡販を主な事業とした、販売の専門組織。フジプレミアムグループの新たな企業や技術、製品との出会いを追求します。
- 住所 〒671-2216兵庫県姫路市飾西37番地1
- TEL 079-266-5689(代表)
- FAX 079-267-3660(営業部)  
079-267-3471(業務部)

## TOPICS 2 アドヴァンテック事業部を開設いたしました。

光学機能製品の技術及び人員を集約するため、オプティクス事業部とブレライト事業部を統合し、アドヴァンテック事業部を開設いたしました。

## TOPICS 3 6月29日に定時株主総会を開催いたしました。

### 株主総会 開催

#### 【第24回 定時株主総会】

場所:姫路商工会議所 7階大ホール

日時:平成18年6月29日(木)

午前10時～

出席株主数:57名

#### 【決議事項】

第1号議案 第24期利益処分案承認の件

第2号議案 定款一部変更の件

第3号議案 取締役2名選任の件

第4号議案 監査役1名選任の件



## TOPICS 4 ビジネスコンペで最優秀賞を受賞いたしました。

姫路市や姫路商工会議所で構成される「光都ビジネスコンペ」4回目を迎えた今回、当社子会社であるフジサンエナジー株式会社による「携帯型AC・DC出力蓄電池付太陽電池電源(P-HSP)」が最優秀賞を受賞いたしました。



## TOPICS 5 フジプレミアム納涼祭を開催いたしました。

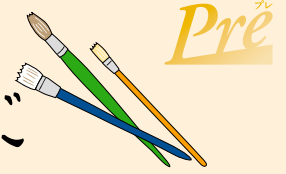
毎年恒例の納涼祭が、今年は初めて本社で開催されました。近隣の住民の方々、従業員の家族の方々に日頃の感謝を込めて、フリードリンク・フリーフードでお楽しみいただきました。ゲームやマジックショーなどメニューも盛りだくさん。最後の盆踊りでクライマックスを迎え無事、終了となりました。来年もまた、楽しいプランで皆様をおもてなしたいと思います。どうぞよろしくお願い致します。

場所:フジプレミアム本社  
日時:平成18年8月5日(土)  
午後5時～午後8時



フジプレミアム  
が選ぶ

# 「おすすめミュージアム」で学ぶ



長かった夏の暑さもやっとやわらぎ、  
日ごとに秋の気配が濃くなってきました。  
今年の秋は何をして過ごしますか？

行楽の秋？読書の秋？

今回、フジプレミアムがおすすめするのは芸術の秋。

播磨に数あるミュージアムの中から、  
選りすぐりの4カ所をご紹介します。

## 1 ミュージアム 赤レンガの外観がノスタルジック 姫路市立美術館

明治時代の建物を保存活用している  
美術館。多彩なジャンルの作品を所蔵し、  
世界的な名品・名画の収集にも意欲的。  
緑の芝生と赤レンガの景観も美しく  
「環境色彩10選公共の色彩賞」に選ばれ  
ています。



【住所】姫路市本町68-25  
【アクセス】JR/山陽電鉄「姫路」駅より徒歩約20分

## 2 ミュージアム 展望室からの眺めは最高 明石市立天文学館

昭和35年、日本標準時の基準である東経  
135度子午線上に建てられました。プラ  
ネタリウムや時や宇宙・天文についての  
展示があります。おすすめは展望室で、  
明石海峡大橋を眼前に眺めることが  
できます。



【住所】明石市人丸町2-6  
【アクセス】山陽電鉄「人丸前」駅より徒歩約3分



このミュージアムにも注目!

## 赤穂義士ファン必見の ミュージアム 大石神社 義士史料館

大石内蔵助や四十七義士などを祀る  
大石神社内にあり、討ち入りに使用した  
采配や、義士の遺書などを展示してい  
ます。「義士宝物殿」など、4つの見どころ  
を総称し、大石神社義士史料館と呼ば  
れています。

【住所】赤穂市上飯屋129  
【アクセス】JR「播州赤穂」駅より徒歩約15分

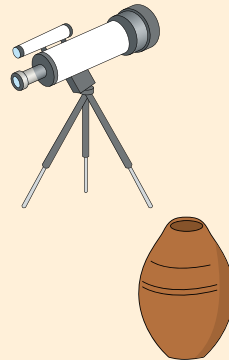


## 3 ミュージアム 豊富なイベントも魅力のひとつ 小野市立好古館

小野藩の陣屋跡に建つミュージアム。播磨  
内陸部の文化の中心地、小野市の歴史や  
文化に関する資料を展示しています。また、  
お茶会や十二単の着付けなど、参加型の  
催しも充実。毎回、多くの人でにぎわいます。



【住所】小野市西本町477  
【アクセス】神戸電鉄「小野」駅より徒歩約3分



## 株主メモ

■事業年度	毎年4月1日から翌年の3月31日まで
■定時株主総会	毎年6月
■基準日	定時株主総会の議決権 毎年3月31日 期末配当金 毎年3月31日 中間配当金 毎年9月30日(※今期の中間配当の予定はございません)
■株式の名義書換	株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内1丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社
■同事務取扱場所 (お問い合わせ先)	〒541-8502 大阪市中央区伏見町3丁目6番3号 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 0120-094-777(通話料無料)
■同取次所	三菱UFJ信託銀行株式会社 全国本支店 野村證券株式会社 全国本支店 ※株式関係のお手続き用紙のご請求は、次の三菱UFJ信託銀行の電話及びインターネットでも24時間承っております。 電話(通話料無料) 0120-244-479(本店証券代行部) 0120-684-479(大阪証券代行部) インターネットホームページ <a href="http://www.tr.mufg.jp/daikou/">http://www.tr.mufg.jp/daikou/</a>
■公告の方法	日本経済新聞 ※決算公告に代えて、貸借対照表、損益計算書は、 EDINET(証券取引法に基づく有価証券報告書等の 開示書類に関する電子開示システム)にて開示しております。



フジプレミアム 株式会社

〒671-2216 兵庫県姫路市飾西38番地1 TEL.079-266-6161(代表) FAX.079-266-6738